

は じ め に

君津広域水道企業団は、昭和49年3月に木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦町（現在は袖ヶ浦市）の3市1町の水需要に応えるため、君津郡市広域市町村圏事務組合において水道用水供給事業を創設し、その後、千葉県の参画を得て昭和53年2月に設立されました。

当企業団の水道用水供給事業は、昭和55年から一部通水を開始し、現在、大寺浄水場及び十日市場浄水場を併せた一日最大給水量 195,000 m³の施設能力により、各構成団体に水道用水の供給を行っています。

なお、事業は、数次にわたる需給計画の見直しにより、計画目標年度を平成37年度、一日最大給水量を 205,000 m³としています。

当企業団としては、かかる需給計画の見直し結果を踏まえ、社会経済情勢の変化に的確に対応することとしていますが、今後は、機能維持を主体とした「維持管理」の時代を迎え、事業の運営にあたっては、経費の削減・合理化はもとより、より効率的な施設整備を図りながら安定した管理体制を維持し、「安心」で「安全」な水道用水の供給を「持続」させるため、事業の推進に努めてまいり所存でありますので、皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

このたび、『平成22年度水道用水供給事業年報』を作成いたしましたので、当企業団の現状を御理解いただければ幸いです。

平成23年11月

君津広域水道企業団
企業長 水越 勇雄